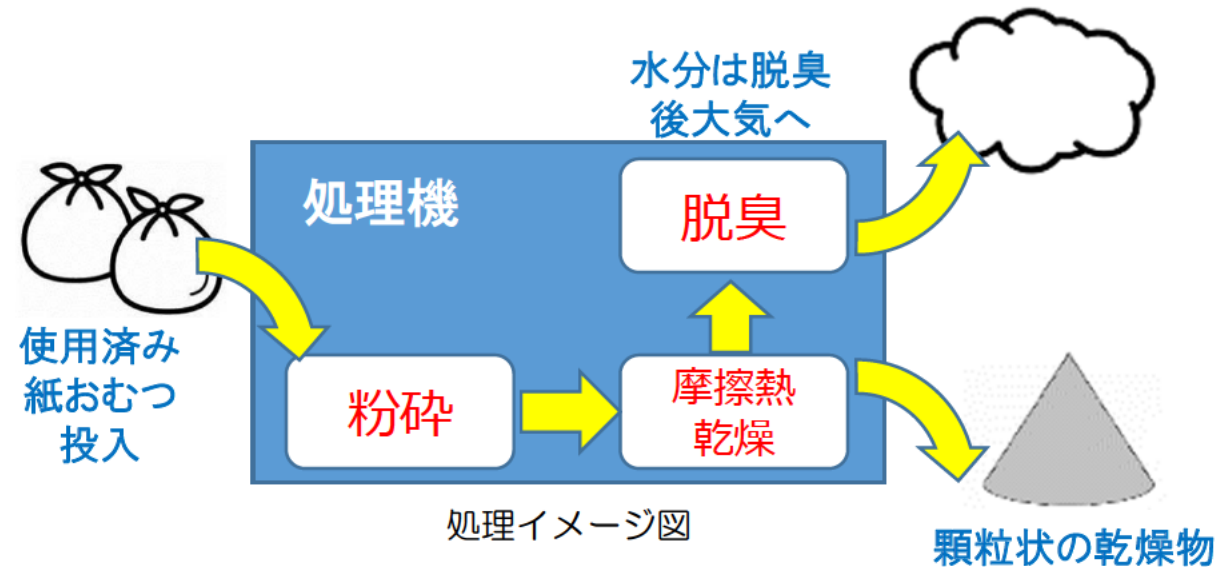


1-1 粉碎・摩擦熱乾燥処理

粉碎摩擦乾燥装置で使用済み紙おむつ燃料化

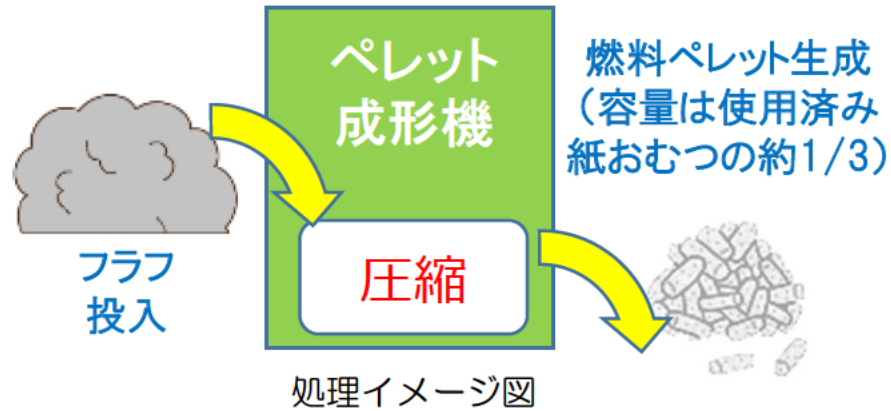


- ・摩擦で発生する熱を蓄積して131℃に到達した時点で乾燥が完了。引火点以下で安全性と効率的に処理。
- ・容量は約85%減、重量は約72%減に減容可能。
- ・生成物をペレット加工すると燃料化も可能。

更にCO₂削減するには…。

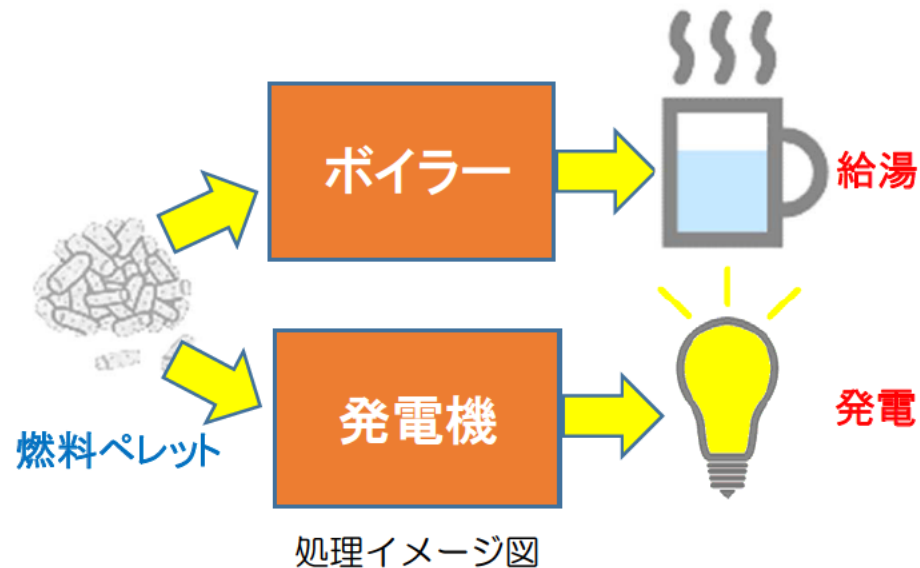


フラフから燃料ペレットを生成



- ペレットを生成すると、容積は元の使用済み紙おむつ1/3の容積に減容する。
- 容積が減容されるため、運搬が容易になる。
- 運搬が容易になるため、運搬時のCO₂削減が出来る。

燃料ペレットの利用法。



- 燃料ペレットを補助燃料材として使用すると、燃料石油の使用削減が図れるので、更なるCO₂削減が出来る。
- 燃料ペレット生成場所との使用場所が近いと、運搬時のCO₂削減も出来る。
- 伯耆町では使用済み紙おむつ燃料化処理からボイラーでの給湯までのシステムで既に運用中。